

補正予算密議

疑問だらけの教員免許制導入

2月定例議会開会中ですが、新年度予算に先立ち平成19年度補正予算の審議が行われました。一般会計は、各事業費の確定が主で約185億円の減額補正となっています。福祉灯油の助成事業費3000万円の一方で、山形県・酒田市病院統合再編（地方独立行政法人化）に関わる事業費約5億6000万円や教員免許管理システム開発関係事業費約5600万円が計上されています。

「教員免許管理システム」とは、国の法改正により新たに教員免許の更新制を導入するためのデータ入力や管理事務を行うというものです。

教員免許に10年の期限をつけ、30時間の更新講習を修了しなければ免許更新をしないと、更新講習は、教員養成系大学などが担うことになりま



2008年3月2日
第25号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺ゆり子
〈連絡先〉
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

す（09年から実施）。現職の先生方の話を聞きますと、「現状は管理強化と多忙化で超過勤務が多く、授業準備もままならない」とのことです。さらなる更新講習が、真に教員の資質向上につながるのか疑問です。

また、大学関係者からは、更新講習受け入れに「夏休みしか受けられない。限界がある。夏休み中の研究がなくなる」など、不安の声があがっています。教員が力量を向上させるには、子どもや保護者

2月22日の県議会 村山隆県議の辞職を許可

飲酒運転で辞職勧告決議を受けていた村山隆県議が3月31日付の辞職願いを提出し、同日県議会はこれを許可しました。遅すぎた辞職です。多くの有権者の批判の声や、県議会の飲酒運転撲滅条例案上程などが辞職に追い込んだのではないのでしょうか。

公立病院の 厚生文化常任委員会 地方独立行政法人化の補正予算に反対

2月25日開かれた厚生文化常任委員会が今年度の補正予算が審議されました。

自治体病院の多くは赤字となっていますが、地域医療になくてはならない不採算部門を抱えながら、関係者の努力に支えられている現状です。

自治体病院の多くは赤字となっていますが、地域医療になくてはならない不採算部門を抱えながら、関係者の努力に支えられている現状です。

ゆり子の視点

私が住んでいる滝山地域では、年に2度ほど町内会連合会と在任議員との懇談会が開催されています。2月も、佐藤あき子市議と参加し、それぞれ県、市の新年度予算について報告して話し合いがなされました。

税収の落ち込みや、低下する食糧自給率に対する不安、ゴミ収集や減量化の課題など質問や意見が出されました。

どれも山形や地域を良くしたいという思いが強く伝わってきました。こういう方々によって地域が支えられています。議員として、おおいに学ぶとともに、しっかり県政をチェックしなければと気持ちを新たにしました。